

平成28年度「特別支援教育に関する実践研究充実事業
(特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究)」報告書

団体名	秋田県教育委員会
研究開始年度	平成27年度

I 概要

1 指定校の一覧

設置者	学校種	障害種	学校名
公立	特	知的障害	秋田県立能代支援学校 (あきたけんりつのしろしえんがっこう)
公立	特	知的障害	秋田県立支援学校天王みどり学園 (あきたけんりつしえんがっこうてんのうみどりがくえん)
公立	特	知的障害	秋田県立横手支援学校 (あきたけんりつよこてしえんがっこう)

2 研究テーマ

障害の重度・重複化、多様化に応じ、自校の特色を生かした教育課程の編成と授業改善

3 研究の概要

県内の特別支援学校においては、知的特別支援学校に肢体不自由を併せもつ児童生徒や、医療的ケアの必要な生徒が在籍する一方、中学部、高等部には近隣の小・中学校から入学する児童生徒が増加する等、障害の状態の重度・重複化、多様化が進んでいる。また、各特別支援学校では、地域とのつながりを生かしながら、特色ある教育活動の展開を進めている。こうした状況に応じ、自校の特色を生かした教育課程の編成と授業改善を行うため、知的特別支援学校3校を指定校として実践研究を行った。

- ・県立能代支援学校は、主体的な社会参加を目指した地域と関わる学習を取り入れた教育課程編成の仕組づくりについて研究した。
- ・天王みどり学園は、キャリア教育の視点で小・中・高を貫く教育課程編成のための具体的な方法について研究した。
- ・横手支援学校は、地域資源を活用した授業づくりを通して、ライフキャリアの視点を大切にされた教育課程の編成について研究した。

各指定校において、平成27年度の基礎研究を生かした教育課程の編成と、それに基づいた授業改善の一層の充実を図った。研究を進めるにあたり、同一地区内の教務主任、研究主任が連携し、教育課程や授業研究の協議を実施した。また、県外先進校の視察や、他の指定校の公開研究会に参加し、これにより得たことを自校の教育課程の編成と授業改善に具体的に生かした。研究成果については、公開研究会の開催や、研究紀要の配布を通して発信した。

県教育委員会は、各指定校の研究成果を全県の特別支援学校において共有し、自校の特色ある教育課程の編成と評価・改善について検討するため、教育課程協議会を実施し、指定校の取組を確認するとともに、教育課程編成の仕組みについて研修する機会を設定した。また、具体的な授業改善を推進するため、各教科等を合わせた指導について、研修会や授業研究会を実施した。

4 研究の成果

指定校においては、自校の特色を生かした教育課程の編成と授業改善について教務部と研究部が連携し、全校体制で取組が進められた。また、同一地区内の教務部、研究部の連携協議会の実施や分掌主任が参加する地区別教育課程連絡協議会の開催により、指定校の取組を核としてそれぞれ自校の取組に生かしていく等、全県において自校の教育課程編成と評価・改善への意識が高まった。

- ・ 県立能代支援学校では、前年度の研究で整えた教育課程編成と評価・改善の流れを職員間で共有し、授業づくりのPDCAサイクルの確立や、地域と関わる学習と日々の授業との関連の要点を明確にすることができた。
- ・ 県立支援学校天王みどり学園では、各学部間をつなぐ仕組みとしてワーキンググループとプロジェクトチームを機能させることによって年間指導計画の連続性が図られるとともに、各学部段階における「キャリア教育における目指す姿」に反映し、授業改善に生かすことができた。
- ・ 県立横手支援学校では、キャリア教育全体計画を基盤に、児童生徒一人一人の「育てたい力」を明確にした授業づくりを行うとともに、評価の視点を絞った教育課程の評価・改善を進めるための校内のシステムを構築することができた。

県教育委員会は研究推進校の取組を積極的に発信するとともに、研究主任連絡協議会と教務主任連絡協議会を関連させて実施するとともに、管理職を含めた各分掌主任が自校の教育課程の特色について協議する機会を設定する等、推進校の取組を全県で共有しながら進めることができた。

5 課題と今後の方策

指定校3校は、2年間の取組を通して、自校の特色を生かした教育課程の編成と評価・改善の流れを明確にした校内のシステムを構築することができた。しかし、このシステムが定着し、実質的に機能していくためには、実際に活用しながらより各校の実状に応じたものにしていくことが必要である。これにより推進校においては次の点に留意しながら継続した取組を行っていく。

- ・ 能代支援学校では、教育課程コーディネーターと連携し、評価の時期や方法についてより効率的な流れを検討していくとともに、個別の指導計画等の目標をより適正化して授業改善に生かす。
- ・ 天王みどり学園では、今年度のワーキンググループと学部研究とのつながりについて明確にした課題点を学部研究においても検討し、より具体的に授業改善へ生かす。
- ・ 横手支援学校では、今年度整理した「ライフキャリアの視点」を個別の支援計画や個別の指導計画に具体的に反映させるとともに、家庭・地域との連携を段階的・継続的に実施する。

県教育委員会は、教育課程編成と評価・改善のシステムづくりをより全県的な取組とするために指定校の取組の成果と課題を平成29年度の教育課程協議会等で周知するとともに、次年度も教務部と研究部を軸とした地区別教育課程連絡協議会を実施し、協議内容を各校の教育課程の編成・改善に具体的に反映する。

また、平成28年度に構築した教育課程編成のシステムにおいて、各指定校とも具体的には年間指導計画や授業デザインの評価・改善に生かす部分が大きかった。平成29年度以降は新学習指導要領の要点も意識しながら、より具体的な指導内容・指導方法の充実を図り授業改善につなげていく。